

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2. 別途工事

なし

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事請負人は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用となるため、仮囲い等を設置し、事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は、周辺地域、児童、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議、調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と児童・学校関係者の出入り口が重複するため、大型車等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑥ シート防水改修機械的固定工法のアンカー打ち等の音の発生する作業や、ウレタン防水等のおいの発生する作業は学校管理者と事前協議の上、児童、職員に配慮して行ってください。

⑦ この工事は、建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑧ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに施工計画書等の承諾を受けてください。

⑨ 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

⑩ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

5. 工事における「第20回世界パラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界パラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。

については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、

大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- 使用するロゴは「第20回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとし、指定のデザインとする。
- 「第20回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- 大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡すること。
- ロゴ標示期限は2026年(令和8年)3月31日とする。

(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。)

対象とする。

# 福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事

図 面 リ ス ト	
番号	図 面 名 称
A-01	表紙・図面タイトル
A-02	建築工事特記仕様書・付近見取図・配置図
A-03	平面図 1
A-04	平面図 2
A-05	断面図 1
A-06	断面図 2

	工 事 名	福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事			福山市教育委員会事務局管理部施設課			2023年8月	図 面 No.		
	図面名称	表紙・図面タイトル	縮 尺	-	主 務	係 長	次 長	課長補佐	施設課長	部長	A-01

工事概要										
1. 工事名称	福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事									
2. 工事場所	福山市藤江町2894番地									
3. 工事概要	防水改修 一式									
4. 別途工事	-									
仕様										
1. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。 (1) 官庁手続き 受注者は関係官公署への必要手続きを代行する。（官公署手続きは監督員の承諾後とする。） (2) 地元企業及び地場製品の活用 受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。 (3) 疑義に対する協議等 設計図面に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図面によることが困難もしくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。 (4) その他 本工事の工期は工事検査期間としての14日を含んでいる。									
2. 主任技術者	受注者は、主任技術者を建設業法によって定め、工事現場内において工事名・工期・写真・所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。									
3. 化学物質等を発散する建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びビスフェノールAを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 塗材はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 1)、3)及び4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。									
4. 発生材の処理	すべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。 ・建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。また、リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>工事着手前</th> <th>工事完成時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入</td> <td>再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出</td> <td>再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用促進実施書</td> </tr> </tbody> </table> なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税される。 なお、本工事で広島県産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。産業廃棄物管理表（マニファスト D、E票の写し）を提出する。		工事着手前	工事完成時	搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書
	工事着手前	工事完成時								
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書								
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書								
5. 工事及び完成写真	着工前 サービス版カラー 工事中 サービス版カラー 完成時 サービス版カラー 1部提出									
6. 完成時の提出図書	竣工図電子データ（竣工図電子データ作成要領による）一式									
7. 仮設工事	工事用水、工事電力は、校内既存施設を無償で使用できる。									
8. 工事現場の安全対策	工程は、建物管理者と協議し学校施設運営に支障のないように努める。 入口より工事現場までの間は、学校施設と共同使用となるので安全の確保に努める。 その他、必要に応じ仮囲いを設置する。工事に際し、施設に破損を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧を行う。									
9. 施工計画書	事前に、仮設計図書、施工計画書を作成し、監督員に提出する。									
10. 使用材料	使用材料（見本を含む）は、監督員の承諾を得る。									
11. 工程表の提出	契約後14日以内に実施工程表を作成し、監督員に提出する。									
12. 保証書	10年保証									
13. 自社施工を求める対象工種	本工事は、受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、次の工種を全て施工しなければならない。 ・防水工（仮設工事等付帯工事は除く。）									

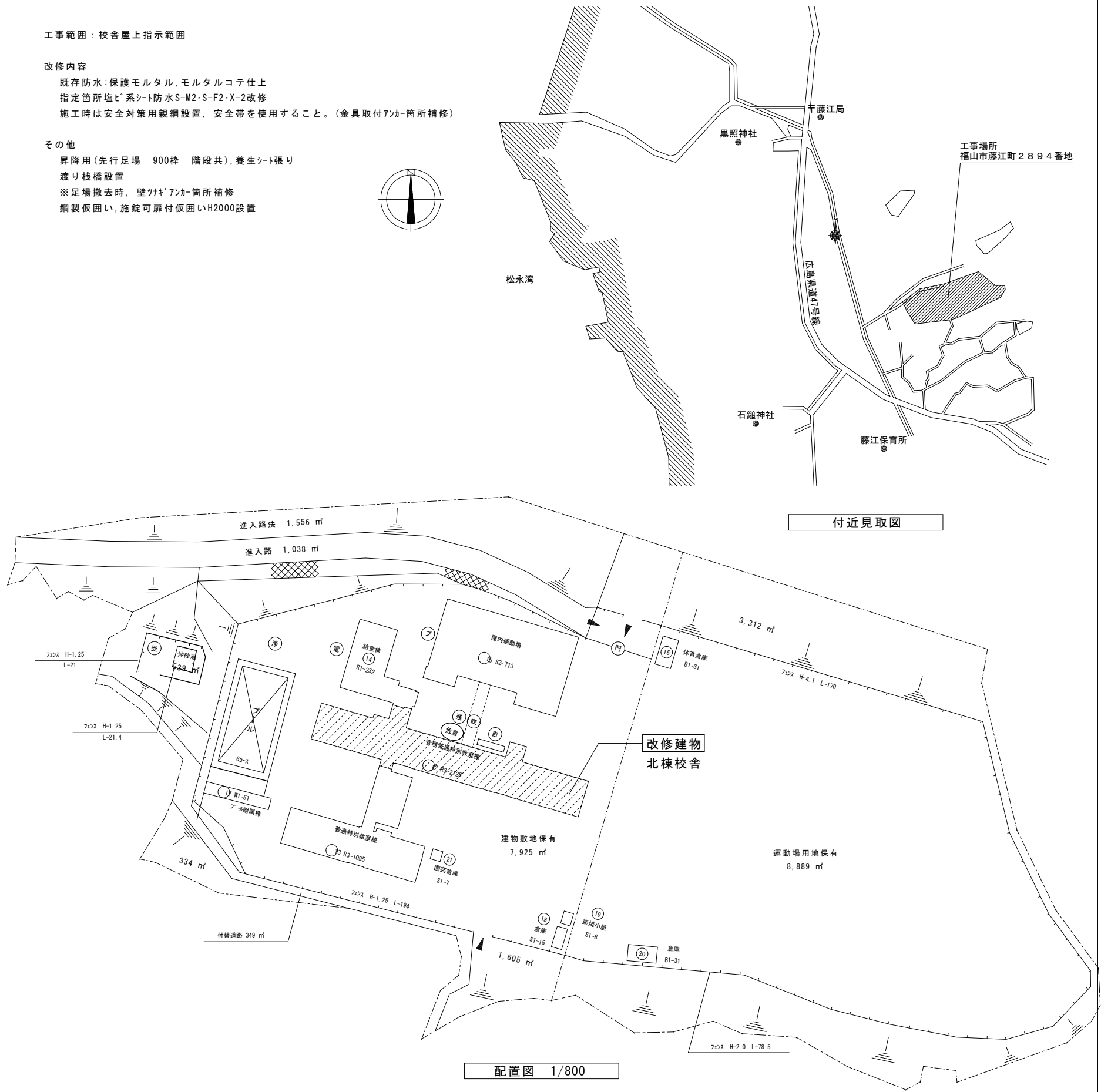
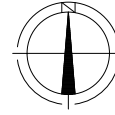
工事範囲：校舎屋上指示範囲

改修内容

既存防水：保護モルタル、モルタルコテ仕上  
指定箇所塩ビ系シート防水S-M2・S-F2・X-2改修  
施工時は安全対策用親綱設置、安全帯を使用すること。（金具取付フカ-箇所補修）

その他

昇降用（先行足場 900枠 階段共）、養生シート張り  
渡り棧橋設置  
※足場撤去時、壁ツナキフカ-箇所補修  
鋼製仮囲い、旋錠可扉付仮囲いH2000設置



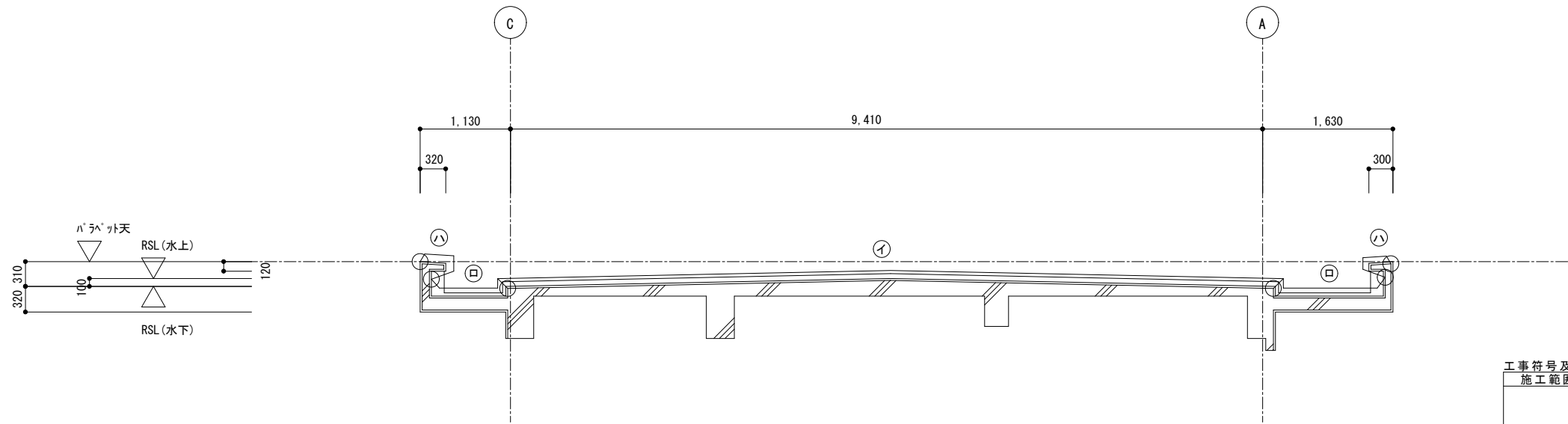
付近見取図

配置図 1/800

図面 No.	工事名		福山市教育委員会事務局管理部施設課				2023年8月	図面 No.
	福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事		主務	係員	次長	課長補佐	施設課長	
	図面名称	建築工事特記仕様書・配置図	縮尺	図示			A-02	



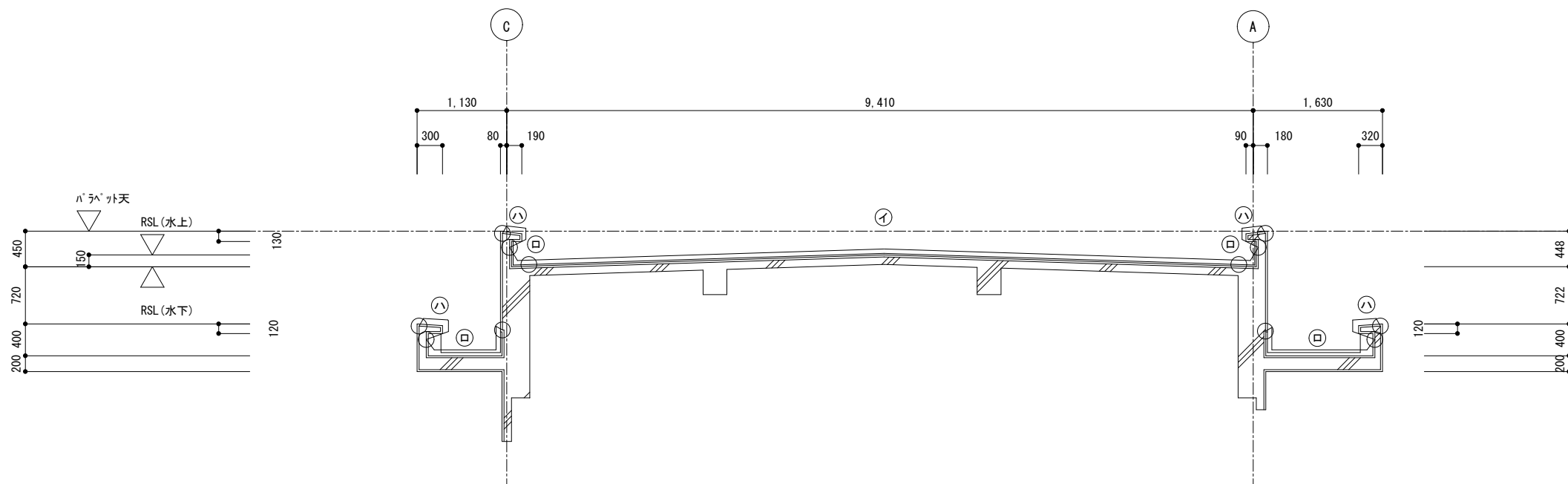




㊦ 断面図 (改修図) S=1:50

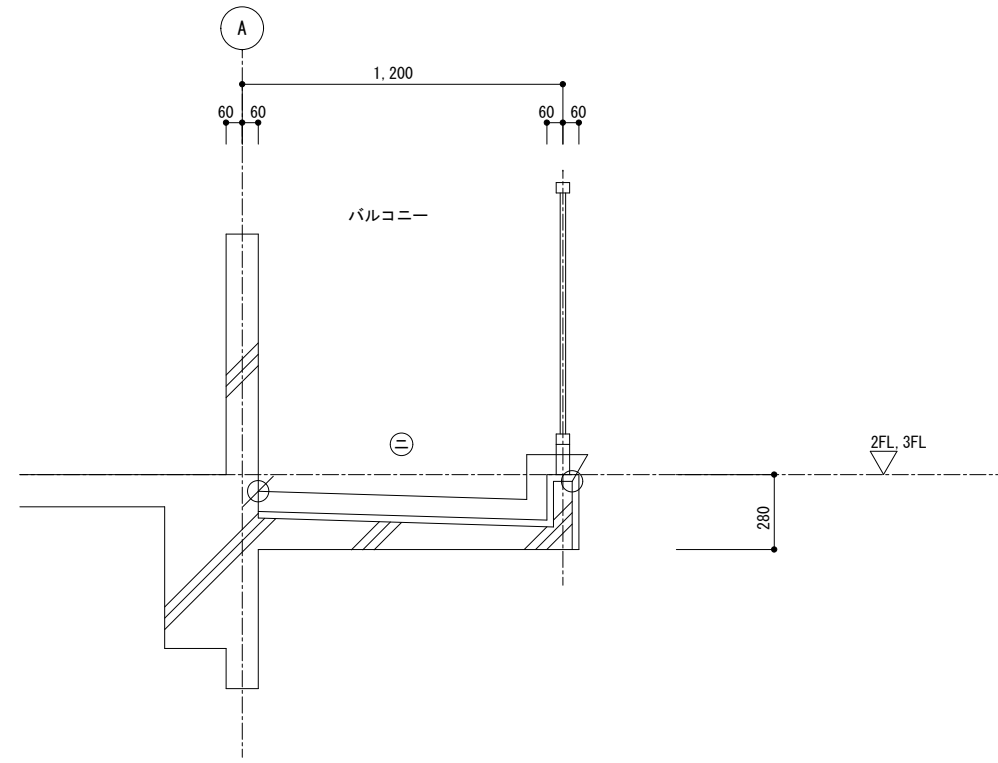
工事符号	記号	改修内容
	㊦	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ、目地シール樹脂系石綿含有 改修内容 : 高圧洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	㊧	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ 改修内容 : 下地処理(目地埋め含む)の上、 合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 立上部7&M30取付 シーリング仕舞
	㊨	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ 改修内容 : 下地処理(目地埋め含む)の上、 ウレタン塗膜防水(X-2工法) 既存塩ビシートと取合う箇所は200mm程度重ねる
	㊩	既 存 : 防水モルタル 改 修 : 高圧洗浄、下地処理(目地埋め含む)の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法) 歩行部は防滑とする 端部防水押え : シーリング仕舞

※施工時は安全対策用頼綱設置、安全帯を使用すること。  
 ※下地処理については伸縮目地撤去の上、ホリヤメントベストにて下地補修とする。  
 ※工事受注者は、工事完成時に防水保証書(10年間)を提出すること。  
 ※既設配管架台はジャッキアップの上、施工すること。

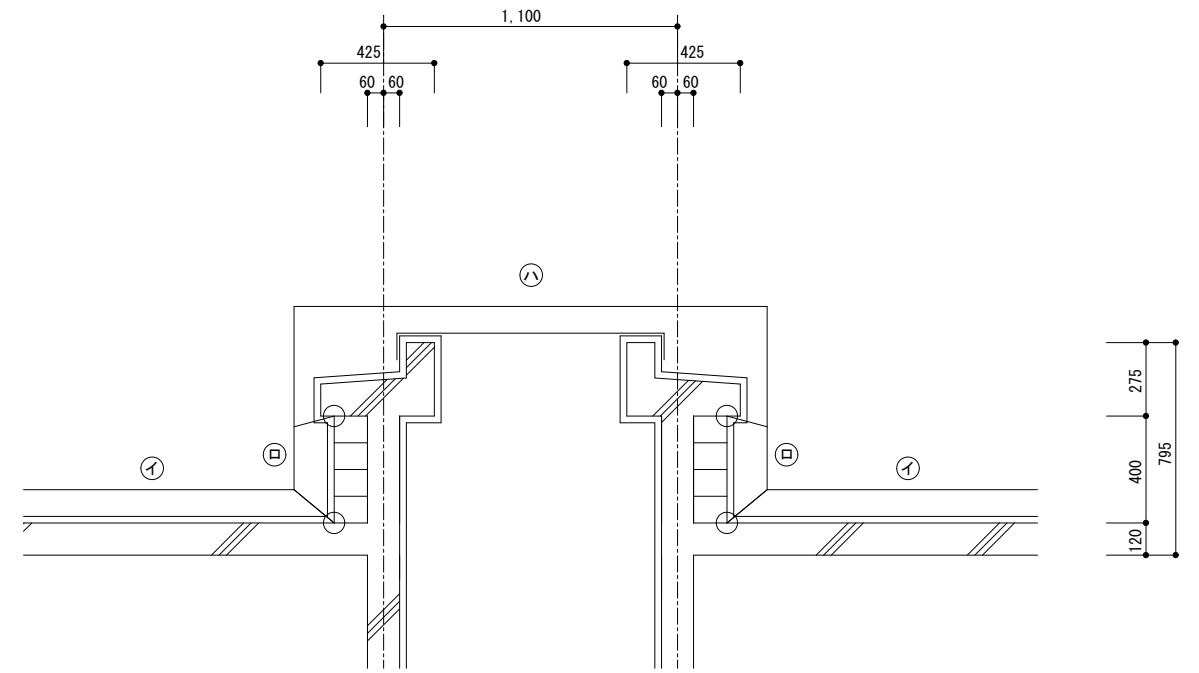


㊦ 断面図 (改修図) S=1:50

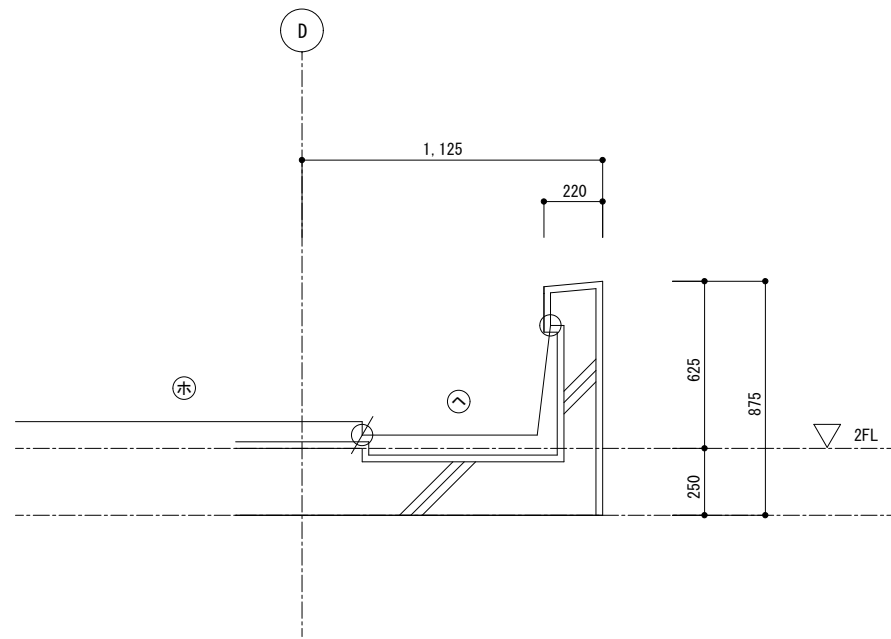
工 事 名		福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課		2023年8月		図 面 No.	
図面名称		断面図 1		縮 尺		S=1:50		A-05	
				主 務		備 員		次 長	
				課長補佐		施設課長		部長	



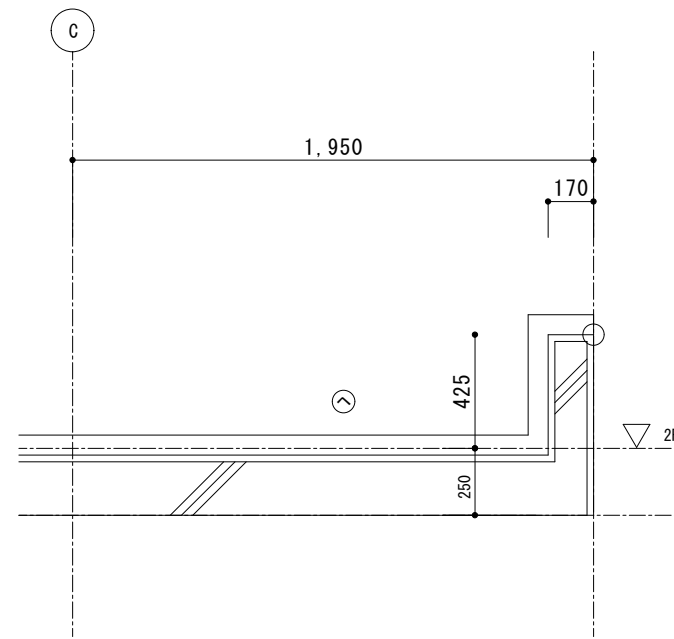
㊟ 断面図 (改修図) S=1:20



昇降ハッチ断面図 (改修図) S=1:20



㊟ 断面図 (改修図) S=1:20



㊟ 断面図 (改修図) S=1:20

工事符号及び工事内容	記号	改修内容
平場部	イ	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ、目地シールフィルム系石綿含有 改修内容 : 高圧洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
清平場部 立上り部	ロ	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ 改修内容 : 高圧洗浄、下地処理(目地埋め含む)の上、 合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 立上部アルミアンクφ10×30取付 シーリング仕舞
平場部 立上り部	ハ	既 存 : 保護モルタルモルタル仕上げ 改修内容 : 下地処理(目地埋め含む)の上、 ウレタン塗膜防水(X-2工法) 既存塩ビシートと取合う箇所は200mm程度重ねる
バルコニー 笠木部	ニ	既 存 : 防水モルタル 改修内容 : 高圧洗浄、下地処理(目地埋め含む)の上、ウレタン塗膜防水(X-2工法) 歩行部は防滑とする 端部防水押え : シーリング仕舞
平場部	ホ	既 存 : 塩ビシート防水 改修内容 : 高圧洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
清平場部 立上り部	ヘ	既 存 : 塩ビシート防水 改修内容 : シート撤去(端部防水押え金物共)、下地処理(目地埋め含む)の上、 合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) パラペット端部アルミアンクφ10×30または45×65取付 シーリング仕舞

※施工時は安全対策用親綱設置、安全帯を使用すること。  
 ※下地処理については伸縮目地撤去の上、リマーセットペーシにて下地補修とする。  
 ※工事受注者は、工事完成時に防水保証書(10年間)を提出すること。  
 ※既設配管架台はジャッキアップの上、施工すること。

工事名		福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課		2023年8月		図面 No.
図面名称		断面図 2	縮尺	S=1:20	主務	係員	次長	課長補佐
					施設課長	部長		A-06



# 参考数量書

§ 工事名称 福山市立藤江小学校北棟校舎他屋上防水改修工事

§ 工事場所 福山市藤江町2894番地

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

# 設 計 書

工事名称 福山市立藤江小学校北棟校舎屋上防水改修工事

工事場所 福山市藤江町2894番地

防水改修工事・・・一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設工事		1		式		
防水改修工事		1		式		
産業廃棄物等		1		式		
計						



建築主体工事		直接仮設工事			仮設工事	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し (屋上防水改修)		410	m <sup>2</sup>			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,147	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,147	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式) 20m未満	建地幅900 掛払い手間 基本料 供用賃料 修理費 安全手摺 運搬費含む	114	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災Ⅱ類 掛払い手間 基本料 供用賃料 修理費 運搬費含む	114	m <sup>2</sup>			
墜落静止用器具費 月額損料	改修工事	1	式			
計						



建築主体工事		防水改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	28.6	m <sup>2</sup>			
既存伸縮目地撤去		1	式			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	1,321	m <sup>2</sup>			
モルタル整形		1	式			
下地補修(シート防水改修面)	ボリマーセメントペースト	255	m <sup>2</sup>			
下地補修(ウレタン防水改修面)	ボリマーセメントペースト	363	m <sup>2</sup>			
目地モルタル埋め補修		1	式			
シート防水 塩化ビニル系t1.5	S-M2(機械的固定工法)	711	m <sup>2</sup>			
シート防水 塩化ビニル系t2.0	S-F2(密着工法)	255	m <sup>2</sup>			
ウレタン系塗膜防水 X-2	平場	79.2	m <sup>2</sup>			
ウレタン系塗膜防水 X-2	立上り	107	m <sup>2</sup>			
ウレタン系塗膜防水 X-2	軽歩行 防滑 平場	177	m <sup>2</sup>			
狭隘部施工割増	設備配管架台, 室外機等ジャッキアップ含む	1	式			
防水押えアルミアンクル (材工共)	L-45*65*1.5 ジョイント, ビス含む シーリング共	5	m			
防水押えアルミアンクル (材工共)	L-10*30*1.5 ジョイント, ビス含む シーリング共	303	m			
SUS脱気筒	材工共	11	か所			
改修用ドレン φ75 シート用	縦引き ドレンキャップ含む	20	か所			
改修用ドレン φ75 シート用	横引き ドレンキャップ含む	5	か所			
シーリング撤去	集積共 石綿含有	691	m			
シーリング仕舞	変成シリコン系(MS-2)	435	m			

建築主体工事		防水改修工事		防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
荷揚げ費	16t	1	式			
計						

建築主体工事		産業廃棄物等		産業廃棄物等		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費		0.1	t			
建設発生材運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
建設発生材処理費		0.1	t			
建設発生材処理費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
成形鋼製仮囲い H=2.0m	設置費 撤去費 基本料 供用賃料 修理費 運搬費 扉共	27.2	m			
親綱設置	安全対策費 アンカー設置箇所補修共	1	式			
石綿作業主任者		1	式			
保護具	防護眼鏡・防塵マスク・防護手袋	1	式			
計						